

桧枝岐から会津駒ヶ岳山スキー

S原

2024年1月28日

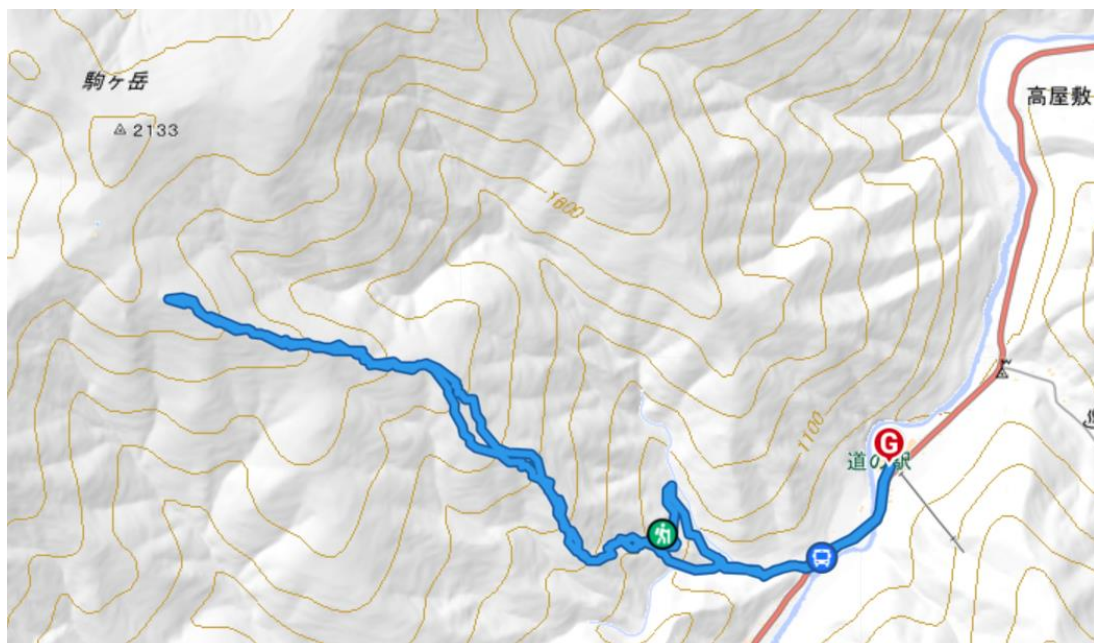
メンバー：A原、S原

暖冬のため今シーズンは各地で雪不足の状況が続いており、前週の巻機山でも湿雪と雨に苦労させられたため、少しでも雪の多い山域を目指し会津駒ヶ岳に向かった。当初は会津駒とセットで三岩岳も計画したが、1/27(土)は風雪が強めの予報のため、前夜発の日曜日帰りに変更した計画とした。

土曜14時に練馬高野台駅でA原さんをピックアップし一路桧枝岐へ。高速を降りた時間が夕食には少し早かったため、真っすぐに桧枝岐へ向かう。塩原温泉を過ぎると桧枝岐までは飲食店やコンビニはほとんど無く、やむなく南会津町のらーめん・焼肉の「渡(わたり)」で夕ご飯を摂る。ラーメン定食を選択するも、店主の修行不足か近隣に競合店が無いからか、味はイマイチでした。小雪が降る中を仮眠場所の道の駅「桧枝岐」に到着し、軽めに前夜祭をし眠りについた。

一夜明け、改めて天気予報を確認しながら車中で朝食を摂り、駒ヶ岳に向け出発した。予報では数日間降り続いていたはずの雪であったが、想定したほどの深雪ではなく滑走には程よい積雪の中、期待を膨らませながら高度を稼いでゆく。途中、小雪が降ったり止んだりして数組のBCスキー組やスノーシュー組、ワカン組、雪訓組とすれ違った。今回はピークハント目的でないことや、上部はガスって来ていて視界が悪いこと、翌日は月曜のため帰路の移動時間も考慮し、無理せず時間を決めて早めに引き返すことにし、標高1,980m付近で登りを終了し、お楽しみの滑走を開始。

下りの滑走はとても快適でモフモフのパウダースノーを堪能しながら、往路の尾根を外さないよう、またA原さんとはぐれないよう意識しながら滑走した。さすがに最下部付近のヤブがうるさくなったころ、登山口の滝沢登山口に下山した。道の駅に戻りスキー装備を片付け、立ち寄り温泉(燧の湯)に向かった。値上げ且つ露天風呂は15:00からとなっており、少し残念でした。



■コースタイム

道の駅「桧枝岐」(7:09)～滝沢登山口 (7:24)～1980m付近(11:30)～(12:52)道の駅「桧枝岐」(13:03)

■温泉情報

「燧の湯」 1,000 円 ※露天風呂は 15:00～

